

事務事業 No./名称	■サービス部門 都整-32 管渠維持管理費 □支援部門				ザイムスコード及び個別事業名				
					536	管渠維持管理費			
主管課	道水路管理課		関連課 河川課						
分野名	安全で快適な生活が送れるまち								
目標 (目標値)									
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考					
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯						
運営資源 状況	決算値	222千円	222千円						
	(国・県)						指標と評価		
	(負担金等)						指標		
	(一般財源)	222千円	222千円				評価		
	人員配置数	0.4人	0.4人						
	人件費	3,640千円	3,608千円				◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		
	協働の パートナー						目標値	実績値	
事務事業 運営経費	総事業費	3,862千円	3,830千円	20年度					
	市民1人当 りの経費	22円	22円	21年度					
	対象者1人 当りの経費			22年度					
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名			23年度					
				最終年度 (年度)					
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 公共下水道施設の設置箇所が民有地にあるため土地の貸借料を支払っている。							
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 地権者と寄付の交渉などを行った。							
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 地権者に貸借料を継続して支払った。							
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 公共下水道施設の設置箇所を下水道用地として買収することを検討するほか、地権者と寄付の交渉 を行っていく。							
一次評価(課長評価)			二次評価(部長評価)						
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了									
評価結果	改善の必要性				評価結果	改善の必要性			
B	有	当面は現状を維持しながら、事業の 進展に応じて必要な見直しを行う。			B	有			
課長名		道水路管理課長 稲葉 一男		部名・部長名		都市整備部 山内 廣行			